

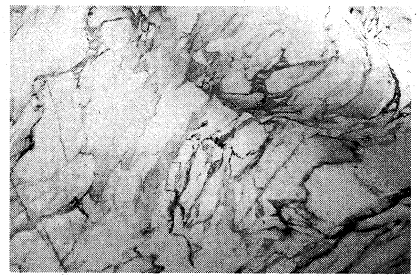
維夏
織春
仁年
宇21

抗ウイルスなど2000品番

国産で生活様式変化に対応

テキスタイル製造卸の宇仁織維は21年春夏向けで、生活様式の変化に対応した国産素材の発信を強める。7月6日から東京店で5日間の商談会を開き、抗菌・抗ウイルス機能や冷感マスク素材、環境にも配慮したナチュラル系素材、ジャカード、プリントなど2000品番以上を揃え、幅広いアパレル企業との取り組みを深める。

市場では、ウイルスなどの感染予防意識の高まりから抗ウイルス加工や抗菌加工への引き合いが増えている。同社は機能素材を揃えた「5・GO（ゴーゴ）」テックプロジェクトで清潔抗菌素材「ルミフレッシュ」の販売を強めている。新たに、制菌・防カビ・抗ウイルス加工「デオファクターアンチウイルス」を施した3品番などを加えてアパレル、雑貨向けに打ち出す。マスク向けでは自然の冷感が得られる「高島ちぢみ」も提案する。



プリントは薄地を中心に大理石風などの柄を取り入れる

また、機能性の追求とともにリラックス感を重視し、ナチュラル志向の素材を充実する。麻100%や麻複合をはじめ、イージーケア性やウォッシュアップ機能を取り入れた麻調合織に広

げ、キュープラ複合ではサステイナブル（持続可能な）需要も取り込む。綿は、西脇産の強撚の先染めや高島ちぢみ、塩縮加工などで表現の幅を拡大する。

産地協業の「5・GO・JQP」（ジャカードプロジェクト）は、オーガニックや薄手のシャーシーなどハリ感のあるシア素材を強化する。カットジャカードオンプリントでプリント調やレイヤード効果を表現し、意匠性や上質感を追求する。

プリントも薄地を中心に、小付き柄やドット柄、線画タッチのコーディネットしやすい表現

の一方で、大理石風やタイダイ風などアート調の柄を取り入れる。京都の染工場との協業による「5・GOデジタルプロジェクト」は、生産工程の環境負荷を低減するインクジェット捺染で、小ロット短納期需要に対応し、同じ柄のオートスクリーン捺染でコスト圧縮要請にも応える。

商談会は従来の展示会より日程を長く設定し、事前予約制で1件あたりの商談時間を確保する。「アパレル企業との情報交換を重視して市場のマインド変化をつかみ、コロナ禍で沈んだ気持ちを一掃する心に響く物作りに役立てる」と位置づける。